

2013年
5・6月号
Vol.3

幸義会だより

岡山東部脳神経外科

常勤医師だより

東備クリニック院長 野口 泰宏



皆様はじめまして。岡山東部脳神経外科東備クリニック 院長 野口泰宏と申します。近隣医療機関および介護関連施設の方々には、大変お世話になっております。この場をお借りいたしまして御礼申し上げます。

今回は私の担当としては初回でございますので、自己紹介を兼ねまして診療内容等について少し御報告させていただきます。

私は岡山県高梁市出身で、県立高梁高校卒業後に広島大学医学部医学科に進学いたしました。今では見る影もありませんが、学生時代はテニスに明け暮れた毎日で、大学の授業もジャージ姿で受けるという有様でしたが、何とか平成3年に卒業いたしました。

大学卒業後に脳神経外科の道に進んだわけですが、平成15年に不思議な縁で東備クリニック院長として岡山東部脳神経外科に入職いたしました。当時37歳と若輩であり、院長職が務まるか不安もありましたが、周辺の医療機関の先生方や当院の医師およびスタッフの助けにより何とか10年間やって参りました。

御存知の方も多いと思いますが、岡山東

部脳神経外科には岡山クリニックと東備クリニックがございます。夜間対応および全身麻酔の手術は岡山クリニックで行っておりますが、それ以外の外来診察・検査・リハビリなどは両クリニックで大きな違いはございませんのでお困りの際には、いずれのクリニックにもお気軽に御相談下さい。

当院医師はいずれも日常的に脳神経外科疾患全般の診療にあたっておりますが、私は特に脳梗塞の再発予防に興味を持って取り組んでおります。ノーベル賞受賞というインパクトもありiPS細胞を皆さん御存知とおもいますが、当面はiPS細胞を利用しても脳の再生は難しいだろうと思います。従いましてやはり脳を傷つけない、脳卒中予防が最も大切だと考えております。

食生活の欧米化とエコー・MRAなどの検査技術の進歩により発見頻度が増えているのが頸部内頸動脈狭窄症です。不安定狭窄の場合は脳梗塞を起こしやすいことが知られており、血栓内膜剥離術(carotid endarterectomy; 通称CEA)により動脈硬化巣を摘出することで脳梗塞予防効果が期待できます。通常ならば内科的治療による予防が行われる中で、脳神経外科医が脳梗塞予防に寄与できる数少ない機会であります。当院ではこの10年弱で200例を超えるCEA手術を行っており、県下でもトップレベルの症例数を誇っており、周術期のスタッフ対応も習熟しておりますので、より高いレベルでのサービスを提供できているものと自負しております。

また脳外科で診療しているというイメージがあまりないかもしれませんが、認知症診断治療・脊椎脊髄疾患治療なども高齢化社会を迎えた現代社会で避けては通れない問題と認識しており、外科医として貢献できる部分も多いと考えており力を入れて取り組みたいと考えておりますので、是非御相談下さい。

これまで以上に地域医療に貢献できるところが一番の願いであります。今後とも宜しくお願いいたします。

医師紹介

この春より岡山東部脳神経外科に非常勤として勤務していただく医師の紹介をさせていただきます。

医師 佐能 昭



今年4月より週1回、脳外科外来を担当させていただきますことになりました。それまでは広島県福山市で脳外科医として勤務しておりました。当院の理事長とは大学の同級生で縁あって、この度、赤磐医師会病院で回復期リハビリの開設にたずさわることとなりました。合わせてよろしくお願い申し上げます。

私の趣味は船釣りですが、海がやや遠くなってしまうので、新たな仕事を頑張るつもりでおります。

よろしくお願い申し上げます。

医師 出口 健太郎

医師 名古屋 章子



皆さんこんにちは。平成25年4月から第1、3水曜日の午後に神経内科外来診療を担当させていただきます出口健太郎と名古屋章子です。

出口健太郎は静岡県磐田市出身ですが、小学校3年生の時に山陽団地4丁目に引越してきて、山陽西小学校、高陽中学校に通いました。ちょうど第二次ベビーブーム期で、小学校は1学年で6クラス、中学校は9クラスあり、おそらく一番生徒が多い時代を過ごしたと思います。小学校の時にはソフトボールチームに所属し、中学校の時には剣道部で稽古に励み、とても楽しい学生生活でした。その後、岡山操山高校、岡山大学医学部に進学し、平成11年卒業後、岡山大学神経内科医局に入局しました。現在、神経学



医師 戸田 洋伸

はじめまして。この4月から循環器内科外来を担当することとなりました戸田洋伸と申します。出身は広島大学医学部で卒後9年目になります。昨までは広島県の福山市市民病院に勤務しておりましたが、この度、岡山大学病院への転勤に伴い、毎週火曜日のみ、こちらにお世話になることになりました。

専門は虚血性心疾患と末梢動脈疾患ですが、生活習慣病の管理や、心不全・不整脈など、幅広い循環器疾患に関して可能な限り対応させていただきますので何なりとおっしゃっていただければ幸いです。

3児(6歳、3歳、1歳 全て男の子)の父であり、週末に子供を連れて遊びに出かけるのが楽しみです。今後とも宜しくお願い致します。



名古屋章子は、岡山県出身で岡山芳泉高校、高知大学医学部に進学しました。中学校から大学までバレーボール部に属し、バレー一筋の学生時代でした。平成12年大学卒業後、岡山大学神経内科医局に入局し、神経学会専門医を取得し、医員として勤務しています。

滝澤先生をはじめとする素晴らしい先生方のご尽力で、岡山東部脳神経外科は地域医療の大黒柱として大変注目されています。私たちも微力ながら頑張りたいと思いますので、これからもよろしく宜しくお願いいたします。

検査部より

マダニに注意!!

最近になって存在が知られるようになり今年1月、山口県で初めて国内の症例が確認されたダニの媒介性の新しい感染症「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」。



SFTSはマダニが感染源とされていて、6日〜2週間が発症し、高熱や吐き気、血便などの症状がみられます。マダニは、比較的大きなダニ（吸血前で3〜4mm程度）で主に野山や草むらなどの屋外に生息しており、市街地周辺でも見られます。春から秋にかけてはマダニの活動が

栄養部より

「疲れ」溜まってませんか？

疲労は、体が休養を求めているサインです。肉体疲労と精神疲労、どちらも慢性化すると改善するのがなかなか難しいもの。一日の疲れを翌日に持ち越さないよう、良質なたんぱく質（特に魚や大豆・大豆製品）とビタミン（特に野菜、果物）などを積極的に摂りましょう。背中を丸めて歩いたり、同じ姿勢のまま長い時間座った状態だと内臓や筋肉に負担をかけ、血液の巡りも悪くなります。背伸びをする、肩を回すなど全身の筋肉を動かして、体をほぐしてあげましょう。

〈疲労回復レシピ〉

山芋の梅酢和え

- ・山芋…50g
- ・梅酢…小さじ1

活発化するので注意が必要です。◎対処法

野山や草むらに行く際は、長袖・長ズボン・手袋・長靴等を着用しましょう。

色の薄い服はくっついたダニが見つけやすくなります。

帰宅後はすぐ入浴し、体をよく洗い、新しい服に着替えましょう。

◎もしマダニに咬まれたら・・・

マダニ類の多くは、人や動物に取り付くと皮膚にしっかりと口器と突き刺し吸血します。無理に引き抜こうとすると、マダニの一部が皮膚内に残ったりダニの体内や傷ついた皮膚から出る液体に病原体がある可能性があるので、直接手でダニを取ったりつぶしたりせずに、できるだけ病院で処置してもらいましょう。

また、マダニに咬まれた後に、発熱等の症状が認められた場合、早めに医療機関を受診してください。

①山芋は皮をむき、3cmくらいの拍子切りにします。

*山芋の皮をむいた後は酢水につけるか、熱湯にくぐらせるに変色を防げます。

②①に梅酢を加えて軽く和え、器に盛れば出来上がりです。

*梅酢は梅干し（1個）でも代用可能。梅干しの場合は包丁や手で細かくしてくださいね。

梅に含まれるクエン酸、山芋に含まれるムチンが疲労回復を促がし、さらに、消化酵素が胃腸の働きを活発にしてくれます。クエン酸は、レモンやオレンジなどの柑橘類にも多く含まれているので、生果物を使ったオレレンジジュースやグレープフルーツジュースも疲労回復に効果が期待できます。ただし、1日に何杯も飲むと果糖の取り過ぎになるので、注意してくださいね。

薬剤部より

山菜取りのシーズンになりましたが、山菜によく似ていて間違えやすい毒草があります。なかには命の危険にさらされるものもありますので注意が必要です。

◎バウケイソウ（オオバイケイソウ、コバイケイソウも含む）

オオバギボウシやコバノギボウシ、行者ニンニクに類似

体内に入ると嘔吐、手足のしびれ、けいれん、などが起こります。



○スズラン

行者ニンニクに類似（花をつけていない状態です）

体内に入ると嘔吐、頭痛、めまい、心不全、血圧低下などが起こります。

毒は花や根に多く含まれます。



○ドクゼリ

セリに類似、根はわさびに類似体内に入ると痙攣、呼吸困難、嘔吐、下痢、腹痛、めまい、意識障害

全体に毒があり皮膚からも吸収される特徴があります。

葉がセリ独特の香りがしない、セリにはない根茎があるので間違いを回避することができます。



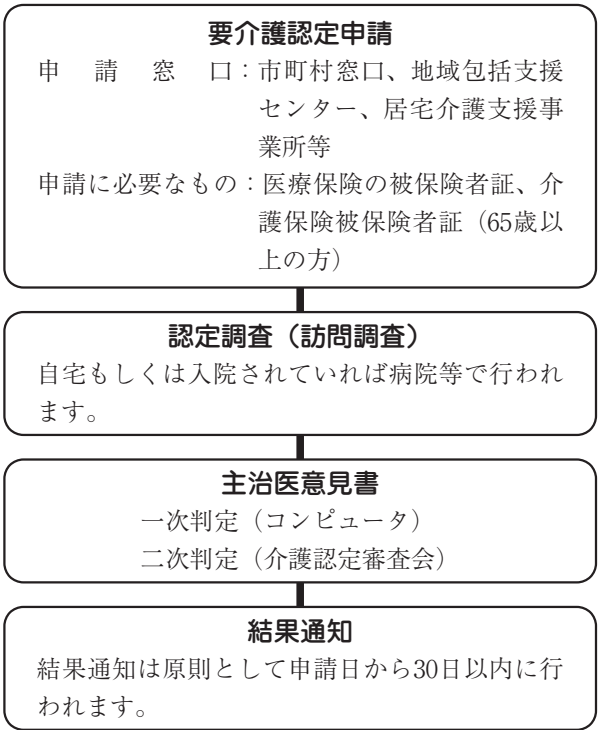
通所リハビリテーションより

介護保険サービスの利用方法

通所リハビリテーション、デイサービスやショートステイ等介護保険サービスを利用するにはまず市町村役場の窓口（介護保健課や福祉課など）に相談します。その後、順次手続きを行い判定が出た後ケアマネジャー（介護支援専門員）を決めてケアプランのもと利用開始となります。サービスを利用する場合、要介

護度によって利用できる金額に限度があります。保険内でどれだけサービスが受けられるのか、ケアマネジャーに相談してください。当院でも御利用者様、御家族様の多様なニーズに答えられる様、岡山クリニックで通所リハビリテーション、東備クリニックでデイサービス・ショートステイを実施しています。多くの方のご相談・ご利用を待ちしています。

要介護認定の流れ



新職員挨拶

事務 谷原 由紀



2月中旬より岡山クリニックの受付にて勤務しています谷原と申します。

まだまだ戸惑うことも多く不慣れな毎日ですが、患者様の診療の流れや他の職員の方々の業務の妨げにならないよう一つ一つ覚えてゆきたいと思っています。今後ともご指導よろしく申し上げます。

事務 高橋まなみ



3月1日より、東備クリニック事務員としてお世話になっております。

早いもので、もう一ヶ月半が過ぎました。

まだまだわからない事ばかりで、患者様、職員の皆様方には迷惑をおかけする事があると思います。

一日も早く一人前の社員として、立派な戦力となるように努力をしていくつもりですので、どうぞよろしくお願いいたします。

デイサービスセンター

「歩夢」より

東備クリニックの北側のデイサービスセンター歩夢では4月より新しく作業療法士が機能訓練士として加わりました。

ご利用者様の個々の目標に合わせて、体と頭を十分に動かしていただけるようなプログラムをご用意しております。

他職種の職員が連携をとり今まで以上にご利用者様にかかわっていただけるように、また、ご利用者様お一人お一人が活動的に過ごしていただけるように支援させていただきます。随時見学を受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

電話…086-952-15250

